



【立山砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会】

日時：令和3年2月18日（木）13：00～17：00  
会場：ボルファートとやま（メイン）2階多目的ホール  
（サテライト）4階琥珀の間

【議事次第】

論文発表及び質疑応答（全8編）

特別講演 1：株式会社相模組 監理技術者 西山 義則  
「北股砂防堰堤改築工事における安全対策について」

特別講演 2：北陽建設株式会社 監理技術者 内川 浩一  
「前ヶ沢砂防堰堤工事におけるリスク低減対策について」

審査結果発表：北陸技術事務所長（欠席）  
（災害対応により協議会長が代行）

表彰：工事安全対策協議会長  
講評：富山労働基準監督署長

【審査結果】

最優秀賞

（株）高田組 橋場 洋平  
「砂防堰堤工事における墜落災害防止について」

優秀賞

（株）岡部 川嶋 大樹  
「有峰二の谷工事における安全な現場環境の構築について」  
石黒建設（株） 笈田 寛樹  
「残存型枠組立て時の手摺の設置方法改善への取組みについて」

奨励賞

（株）林土木 中田 晴紀  
「新型コロナウイルス対策について」  
水新建設（株） 老田 智博  
「3次元測量データを活用した落石対策について」  
酒井建設（株） 山口 哲央  
「初めて砂防工事を担当する若手技術者と安全管理について」  
辻建設（株） 伊東 聡史  
「砂防工事における土石流出水対策及びその他の取組みについて」  
北陸コンサルタント（株） 西中 与仁  
「砂防・急傾斜地での測量作業における安全対策について」

本発表会は、平成8年12月6日に発生した蒲原土石流災害を教訓として、砂防工事における安全施工管理技術の向上と安全対策や創意工夫などの情報共有を目的として、平成11年度から開催しており、今年で22回目となります。

本年度は、従来の多目的ホールに加え、サテライト会場でライブ配信を行い、受付時に検温、消毒を実施するなど、新型コロナウイルス感染症対策に配慮して開催しました。

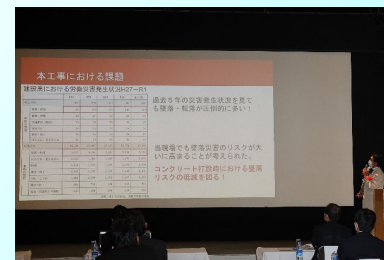
当日は、関係者182名（後援機関等56名、コンサル等34名、工事関係受注者92名）が参加しました。34編の応募論文から、予備審査において他の工事の参考となるという観点で選定した8編について発表いただき、特に優れた安全施工管理技術について表彰しました。また、特別講演では、令和2年度全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会の優秀論文2編を発表していただきました。



会場の様子



主催者挨拶  
工事安全対策協議会長（立山砂防事務所長）



論文発表状況  
（最優秀賞者）



表彰式



特別講演  
令和2年度全国砂防関係工事安全施工管理  
技術研究発表会 優秀論文



講評  
（富山労働基準監督署長）



受賞者・協議会役員との記念撮影